



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2008.2.6 (No.2490)
週報 No. 29

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
会長／荻根澤 隆雄
会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)
副会長／菊池 渉(クラブ奉仕B)
幹事／杉山幸英
S A A／浅野金治
会計／山田富義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:63名中49名
■先々週出席率:82.54%

【先週のメイクアップ】

[1.31] 三条東RCへ
・西川文夫さん、五十嵐晋三さん
・山田富義さん、加藤紋次郎さん



「ロータリーは分かちあいの心」
2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



シクラメン

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

中国から輸入された食品にまたもや問題が発生致しました。冷凍餃子から殺虫剤が検出された事件であります。

幸いな事に死亡者が出る等の最悪な事態に成らなかった事が救いであります。未だ発生原因が解明されておきませんが、日中

共同で原因特定究明中ではありますが今回の事件で日中関係に険悪な問題が起こらない事を願っております。家は国民の生命と財産を守る義務があります。法整備も含め食の安全確保に努めて頂きたいと存じます。

さて、アメリカの大統領予備選ですが大変に熱くなってきました。昨日行われた党員集会スーパーチューズデイであります……今日午後の結果が気になります。

民主党はオバマ氏あるいはヒラリー氏が接戦を呈しており、一方共和党はマケイン氏にロムニー氏の戦いです。大統領選投票日は11月だそうですが何故11月なのか素朴な質問ですが、アメリカもかつては農業国であり収穫が終わり且つ厳しい冬の前に行く事になったそうです。いま一つですが、スーパーチューズデイですが、火曜日でなくて土・日でも良いような気がします。合理主義なアメリカとも思えません。

いずれにしても第44代目の大統領は誰に決まるのか興味があります。

調べましたら、210年の間で第1代ワシントンから始まり43代目の大統領が今のブッシュ氏であります。平均就任年数は4.9年です。

一方、日本の首相は第1代の伊藤博文からはじまり第91代58人目の首相が今の福田氏であります。それも130年の間です。平均在任年数は1.42年で、戦後に至ってはなんと1.36年です。日本の首相もこれでは国際的に信用が得られない訳かなとも思えます。

話を戻します。大統領選ですが個人的にはジョン・マケイン氏に興味がありますが、如何せん名前が良くない!! 負け印でマケインとも読みます。

挨拶を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎ガバナー事務所より米山奨学期間修了者の歡送迎会のご案内が届いております。

とき 3月2日(日) AM11:30~

ところ ホテルオークラ新潟 3F

◎2008~2009年度版ロータリー手帳

購入希望者を回覧致しますので、希望の方は○印をお願い致します。

尚、経費は会で負担致します。

ニコニコBOX

中川正子様

1月30日に卓話をお聞き頂いて、本当にありがとうございました。また、帰りにはお心づかい頂きまして重ね重ね御礼を申し上げます。

荻根澤会長はじめ司会の浅野様、また最前列のイケメンの五十嵐浩様、後列にいらしたまあるいお目々の石月先生には、とても勇気づけられました。末文ではございますが、三条RCの益々のご繁栄と、皆様が健やかで幸せでありますように、心よりお祈り申し上げます。

荻根澤隆雄さん

今日は穏やかなお天気で助かります。

伊藤会員の卓話楽しみにしております。

杉山幸英さん

立春を過ぎ、朝晩は寒いですが、日中は穏やかな日が続いております。

伊藤会員、卓話ありがとうございます。

山田富義さん

今年のカゼは完治に約3週間かかりました。

渡辺勝利さん

幹事のボックス5割増に呼応して。

東京の雪に比して、新潟の穏やかな空に感謝します。困る人もいるのだと思うと複雑。

捧 賢一さん

立春が過ぎ、ようやく春がきますか。

いい年になってくれますように。

中村和彦さん

伊藤さん、卓話楽しみにしています。

今週9日~11日、八方尾根にスキーへ行きます。

スキーも靴が大事です。

小越憲泰さん

先週、ソムリエの田崎真也氏がコーディネイトした食事が高田の料亭 宇喜世でありました。

とても楽しくワインと食事ができました。

樺山 仁さん

2月3日、本成寺へ豆マキに行ってきた。

休日でしたので、大変な数の方々が集まりました。

伊藤さんの卓話を楽しみに!

菊池 渉さん

友人の母親の葬式で久々にギャラリー席から参加しました。日頃、自分がどう見られているか、勉強になりました。

高森章二さん

久し振りにボウリングをしました。84点でした。

石月良典さん

日曜日、雪の東京に行きました。あらためて、滑る坂の多い街に驚きました。

広岡豊作さん

伊藤さん、卓話ご苦労様です。

是非参考にさせていただきます。

伊藤寛一さん

本日は皆様に、「くつの、へりくつ」を申し上げます。よろしくお願い致します。

五十嵐昭一さん、熊倉昌平さん、外山雅也さん、佐藤 武さん、小出子恵出さん、船越正夫さん、会田二郎さん、高橋 司さん、丸山行彦さん、石塚欣司さん、明田川賢一さん、野崎喜一郎さん、田中 仁さん、若槻八十彦さん、金子俊郎さん

伊藤会員、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

浅野金治さん

BOXに協力して。

2月6日分 ￥35,500

今年度累計 ￥957,500



伊藤寛一 会員

何とか生き残らなくてはならない。そんなことから金を掛けずに出来ることはなにかを探し続け、それは履き良い靴を第一に掲げ販売すればお客様から見放されない靴屋になれるだろうと思い、精一杯仕事をしてまいりました。そして、靴屋をやっていくために、30年前にシューズフィッターの資格を取得しようと一時期努力を致しました。そのシューズフィッターの勉強をしている時に、足をどんなに細かく計測し推測したとしてもやればやるだけその足に合った靴、デザインが一致して来ない事態となつてを知りました。それは靴をそのお客様に合わせて私が造っているのではなく、現在ある商品で最善のフィッティングを実現すればよだけの事で、あくまでも靴屋である自分は流通業の一端であるという事がようやく理解できました。ベストフィッティングと言うと靴に対する合言葉のように聞こえます。足に合って当たり前、昨今物が豊富になって靴に足を合わせるのではなく、本当に歩きやすい履き心地の良い靴があつて当たり前の時代になりました。

そんな中で、足の裏から見えてくるもの、健康や生活面などいろいろあります。この会に入会させていただきましてから、当メンバーのいろいろな皆様の足をみさせていただきました。そこから推測させていただきますと、私にも新たな発見でしたが、やはり統率力のある懐の深い、そして収入も多ければ支出も多い愛情に満ちた足の持ち主が飛びぬけて多い団体だと思ひました。例に出せば山田さんには申し訳ありませんが山田さんのような足が、さきに申し上げました人柄の代表ではないかと思ひられます。ちなみに最近の若い男性の足型に限ったことを申し上げますと幅や甲が昔と違って非常に細長くなってきており踵からつま先までの長さも長くなってきております。私共の表現では扇状足と申し上げておりますが扇子を少し広げたような足でかかとかかなめの部分でつま先がその先端部分であると想像していただければ現代人の足型の想像がつくと思ひますが、昔で言う甲高板広偏平足、つまり踏ん張りの利く粘り強い足ではなくなつてきているように感じます。

昔は日本人の履物といえば下駄、足型は下駄足、それは日本の気候的な高温多湿文化であり生活様式での「土足で上がりこむ」などの言葉があるように生活様式、衛生的な部分、健康面などからその様な

文化が長い間いとなまれてきたのだらうと思ひます。近所の下駄屋さんには、履かれた人の足癖を見抜き鼻緒のたてかえの時にはその足型にあつた調整を僅か二股に分かれた親指と人差し指の二点でしっかりと足を支えて、歩きやすくする技術がありました。

以前にもお話いたしました明治維新以降、西洋文化の物差しの中で文化が計られてきている以上、足元からの変化と言うものが大変大事であつたのです。

今では皆さんが良い靴を履いて当たり前のもも靴もブランドも氾濫している時代です。ですが本当に良い靴、身体に合った靴を履いているのかという部分では当たり前になりすぎたがゆえに、少し後戻りしているような気がいたします。実際にもグローバル経済は食品業界にとどまらず、靴業界も同じで流通が激変しておりブランドや値段だけではお客様は判断できない状況です。

ある靴を造り研究されておる方が「人間は靴を履いたために、足の裏をじかに地面につけなくなった。だから、地球の恩恵を実感することを忘れてしまった。」と一言申し述べられたそうです。まさしく現代は靴だけでなくあらゆる部分においてその恩恵をもう一度見つめなおす時期ではないかと思ひます。あまり難しい話しをする人間ではないのですが、その先生の書物では2300年前にアリストテレスが動物運動論の中で「人間が歩けるのは、道が動かないからである」と言われたそうです……。そこで歩くというお話をさせていただきますと、動物は身体の中に運動を始めるさいの「静止点」を置きそれを元に運動が始まるわけでありませう。次に歩き始めるために片足には高度な「動的固定機能」を要求して歩けるわけです。そこまで話しますと私も人間の足と足の裏は大変奥深く、靴屋としては大事な仕事を仰せつかつているのだなあとと思ひます。

皆様もご承知のことと思ひますが、中国何千年の歴史の中、身体の中のツボの他、足に相当数のツボが集中していることはご存知だと思ひますが、足裏には身体の中の末梢神経が集中しているそうです。足は平坦な土の上や砂浜、畳の上など、普段気にはしていないと思ひますが、何の気なしに歩いております。多少のデコボコ、チョットとがった石の上でも多少注意を払いながら何十キロという体重を支えて歩くことが出来ます。ですがほんのチョット少しとがった物を踏んだりすると飛び跳ねます。それほど足の裏とはデリケートであり、忍耐強い部分も持っております。

身体の変調は足に出現します。そして、足の変調は身体に出現いたします。つまり歩き方の変化と言

う形で現れます。ですから歩き方を考えて歩けば、身体にとっても負担は少なくなり末梢神経をつかさどる、自律神経も活性化してくると言うわけです。老化は足からとよく言われますが、つまり足裏、足先などの末梢神経の集中している部分から始まってくるのではないかと思います。高血圧、心臓病、それとはチョット違いますが、最近ではメタボリック症候群、これら老化の始まりのモトは足からと考えてよいのではないのでしょうか。

ここで言う運動、歩き方、とはただ黙々と歩くと言うことではありません。背筋を伸ばし、足の裏全体、かかとから指先までの神経をフルに活用して、足裏全体を感じながら、かかとから足を着き、足の裏全体を感じ取ったら最後に指先を重心が抜けてゆく感じをしっかりとつかみとりながら歩くことです。更にそこに気をおいてゆっくり歩いていますと自然に歩幅が大きくなり、ひざも伸びてまいります。つまり地面を足の裏全体で感じ取っていけるようになることが、歩きの第一歩であり、膝への負担も少なくなります。そして、背筋を伸ばし、お腹を引っ込め、歩くことにより背骨もその揺らぎによって徐々にゆがんでいたものが正常に戻って行くそうです。

私はあるウォーキングの教室に出向いたことがあります、足元は様々でスニーカー、ジョキングタイプのもの、革靴、ハイヒール、など様々な足元で歩きの練習をされていました。そこで「ア、チョット違うなと」直感いたしました。講師のおっしゃることは私も納得でございましたが、歩き癖と申しましうか、生活感と申しましうか、すぐにきれいに歩ける方、何度指導されても直らない方いろいろで、講師の指導方法は完璧で情熱もあり、私も大変に勉強になりました。しかし、そのあと革靴に変えるかしたほうがきれいに歩けますよとアドバイスできると思いました。

最後に、私は皆さんに若いものには負けにくいくらいオシャレで健康な靴を履いていただきたいと思います。最近ではチョイワルオヤジなどという言葉がありますが、オシャレを度外視すると本当のワルオヤジになります。ワルオヤジにならぬよう足におしゃれをし、私も頑張りたいと思っております。歩きには、そんな楽しみも大事です。精神面とメデイカルな面での若返りに、歩き方、靴選びは大切な事と思います。

次週例会 2月20日 外部卓話 庵地焼
旗野佳子 様

次々週例会 2月27日 夜例会「新春例会」
於 二洲楼 PM6:30～

